

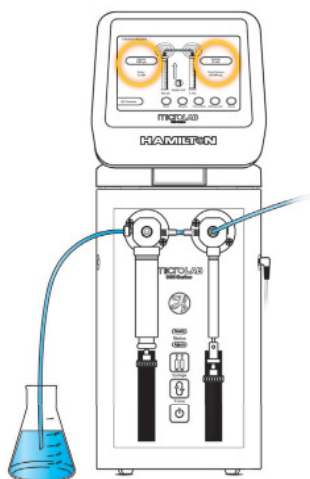
Microlab 600 使用例

Microlab 600 の4つの基本的な使用手順を紹介します。

デュアルシリンジによる希釈メソッド

ステップ 1.

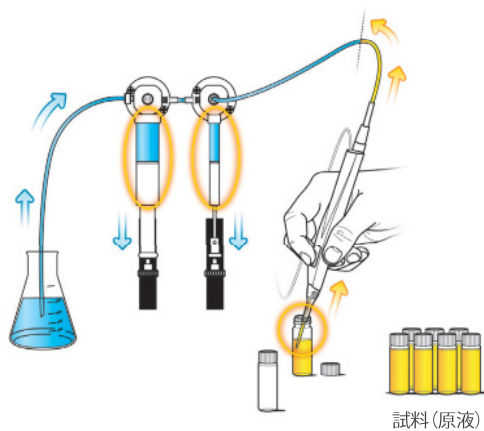
希釈溶媒と試料の分注量を設定します。



希釈溶媒

ステップ 2.

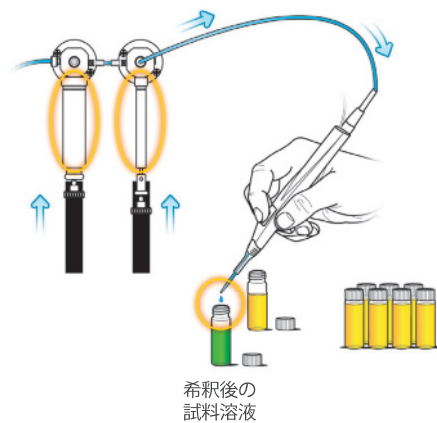
ハンドプロープのトリガーを押し、左側のシリンジに希釈溶媒を充填します。次に、右側のシリンジによって、プローブ先端から試料を吸引します。吸引された試料はチューブ内に保持されます。



試料 (原液)

ステップ 3.

ハンドプロープのトリガーを押し、試料を希釈溶媒と共に、バイアル内に吐出します。試料は希釈溶媒によって、チューブ内から洗い流されます。

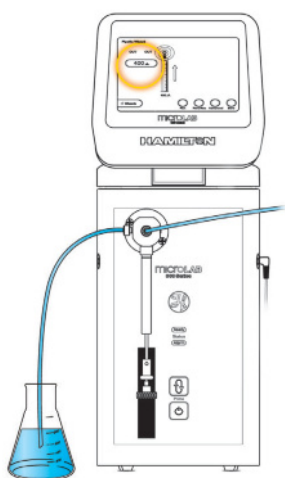


希釈後の
試料溶液

シングルシリンジによる分注メソッド

ステップ 1.

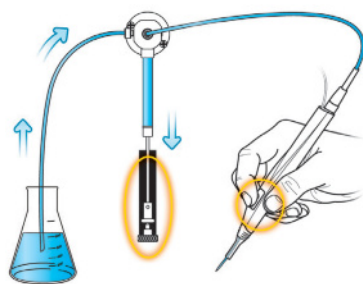
試薬の分注量を設定します。



試薬

ステップ 2.

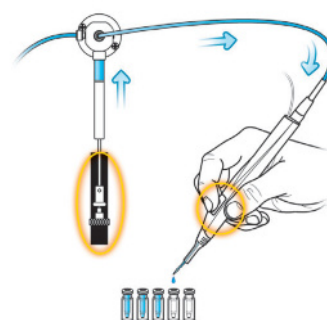
ハンドプロープのトリガーを押し、シリンジに試薬を充填します。



試薬

ステップ 3.

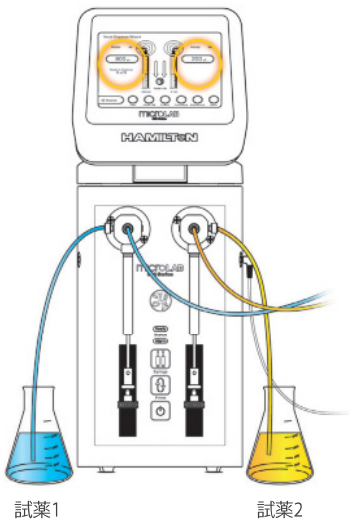
ハンドプロープのトリガーを押し、試薬をバイアルに吐出します。



デュアルシリンジによる分注メソッド

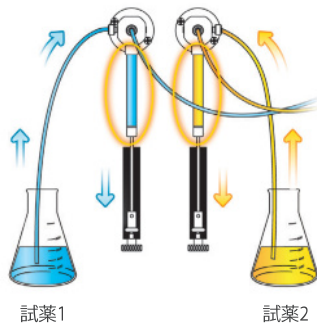
ステップ 1.

試薬1と試薬2の分注量を設定します。



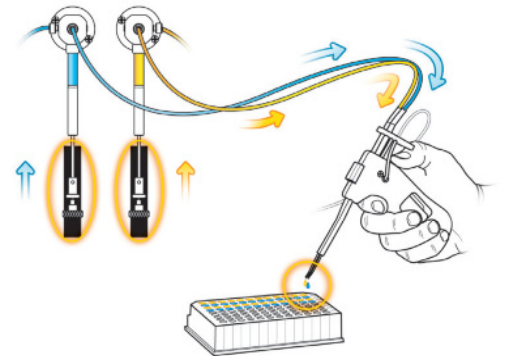
ステップ 2.

ハンドプロープのトリガーを押し、左右それぞれのシリンジに、試薬1と試薬2を充填します。



ステップ 3.

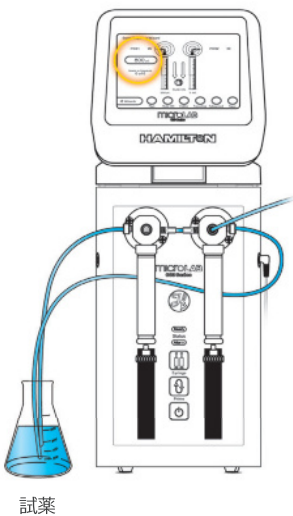
ハンドプロープのトリガーを押し、左右のシリンジ内の試薬を、1つのウェル、または、隣接した2つのウェルに吐出します。



デュアルシリンジによる連続分注メソッド

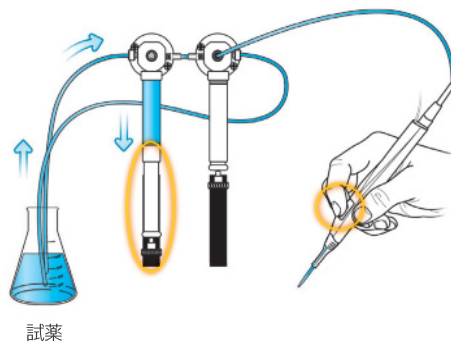
ステップ 1.

試薬の分注量を設定します。



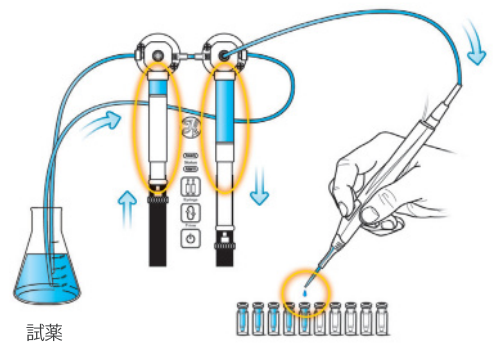
ステップ 2.

ハンドプロープのトリガーを押し、左側のシリンジに試薬を充填します。



ステップ 3.

ハンドプロープのトリガーを押し、左側のシリンジから試薬を吐出します。同時に、右側のシリンジには、試薬が充填されます。一方のシリンジで吐出している間に、他方のシリンジの充填が行われるので、充填による待ち時間を短縮できます。



注) 左右のシリンジの切り替え時には、バルブの流路を切り替える時間が必要です。このため、完全な連続送液には対応しません。